

# ノーフレイム プラス (NoFlame PLUS)

電磁誘導加熱式 (IH 式) ワックスインスツルメントヒーター

## 1. 原理

電磁誘導による金属センサーがインスツルメントを検出し自動で電磁誘導加熱します。

## 2. ご使用方法

- ①プロテクティブキャップを開口部へのワックスの付着を防ぐために、必ず装着します。
- ②電源コードを後部のインレットに差し込み、メインスイッチをオンにします。メインランプが緑色(スタンバイ状態)に点灯したら、使用できます。
- ③インスツルメントを開口部に挿入します。インスツルメントの金属を検出してメインランプは赤色の周期の長い点滅に変わり、加熱を開始します。約 8 秒間まで連続で加熱ができます。
- ④約8秒間連続加熱すると、メインランプは赤色の周期の短い(0.2 秒間隔)点滅に変わり、加熱を停止します。この状態の解除は、メインスイッチを一旦オフにして再度オンにするとスタンバイ状態に戻ります。

☆インスツルメントを開口部に挿入してもメインランプが赤色の周期の長い点滅に変わらない場合は、金属センサーの感度調整の項を参照してください。センサー感度を高くする必要があります。

☆インスツルメントを開口部に挿入しなくてもメインランプが赤色の点滅に変わる場合は金属センサーの感度調整の項を参照してください。センサー感度を低くする必要があります。

### ご注意:

- ・ご使用中は本体開口部に他の金属製のものを近づけないでください。他の金属に反応する場合があります。
- ・本体の下に布等を敷かないでください。本体の底面から冷却のため、ファンによりエアを取り込んでいます。
- ・ファンが作動中、メインスイッチはオフしないでください。ファンは内部温度が高いと作動しています。
- ・プロテクティブキャップはワックスが多く付着したら交換してください。
- ・アルミ製等の反応しにくいインスツルメントはあります。



### 3. 金属センサーの感度調整

準備するもの

- ・VR の調整のため、マイナスドライバー等
- ・ご使用になるインスツルメントで先端形状が細いもの(検出しにくいインスツルメント)

#### ①インスツルメントを挿入していないのに、メインランプが赤色(金属の検出状態)になった場合

※感度が高い場合で、周囲の金属等に反応した等。

調整手順:

- 1) 電源をOFFして感度調整 VR をマイナスドライバー等で、(－)方向(反時計方向)に回します。(電源をONした時に、メインランプが緑色のままになるところまで)
- 2) インスツルメントを開口部に挿入して、この状態でメインランプが赤色になるまで感度調整 VR を(＋)方向(時計方向)に徐々に回します。

☆必要以上に時計方向に回さないでください。周囲の金属等に反応し易くなります。

※1)2)操作を行なっても、状態が変わらない場合、御使用のインスツルメントは反応しにくい可能性がありますので、先端が太い形状や、ステンレス製などの反応しやすいインスツルメントをご使用してみてください。

#### ②インスツルメントを挿入しているのに、メインランプが赤色にならず、緑色のまま(金属の検出できず)の場合

※感度が低い場合でインスツルメントの金属を検出できない等。

調整手順:

- 1) インスツルメントを開口部に挿入して、この状態でメインランプが赤色になるまで感度調整 VR を(＋)方向(時計方向)に徐々に回します。

☆必要以上に時計方向に回さないでください。周囲の金属等に反応し易くなります。

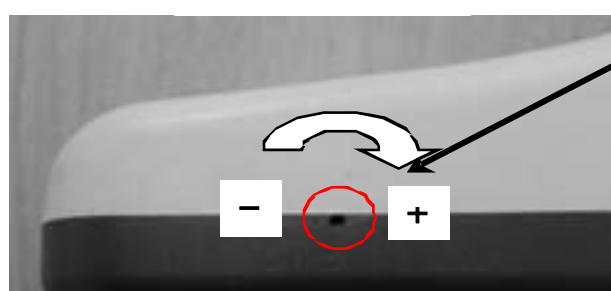
#### ③感度調整を複数回行って①又は②の状態の場合は、検出が難しい金属のためです。インスツルメントをさらに奥まで挿入頂くか 或いは 他のインスツルメントに変えてください。

#### 感度調整 VR の位置

裏面にあるタイプ



側面にあるタイプ



感度調整 VR

#### 4. エラー表示

メインランプの点滅状態などで以下のエラーを表示します。

メインランプ	原因	処置
0.2 秒間隔の赤色の点滅(インストルメントの加熱時)	8 秒間以上の連続加熱	メインスイッチを一旦 OFF にし、再度 ON にする。ご使用方法④を参照ください。
0.2 秒間隔の赤色の点滅(インストルメントの非加熱時)	金属センサーの感度が高過ぎるため周囲の金属、電磁波に反応	金属センサーの感度を下げる。金属センサーの感度調整の②を参照ください。
	開口部内部に金属の落下	メインスイッチを一旦 OFF にし、金属を取り除き、再度 ON にする。
	金属センサーの故障	販売店に問い合わせください。
0.5 秒間隔の赤色の点滅	冷却ファンがブロックされ、回転できない	メインスイッチをオフにして、本体の底面の冷却ファンをチェックし、妨害するものを取り除き、メインスイッチをオンにする。
	冷却ファンの故障	販売店に問い合わせください。
1 秒間隔の赤色の点滅(ゆっくり)	ユニット内部の過熱	電源をオフにして、さましてください。数分後にもう一度スイッチをオンにしてください。

#### 5. 安全に関する事項

- 本器は歯科用として開発されたものであり、それ以外の用途で使用した場合、製造者はいかなる製造物責任も負いません。
- 本器は屋内で使用してください。
- 溶剤による清掃は避けてください。
- 本体の底面の冷却エア取り入れ口は、つねに清潔にしておいてください。
- インストルメントは開口部に置きっぱなしにしないでください。
- 本体を分解しないでください。
- 予備品(プロテクトキャップ)はアマン社純正品を使用してください。
- ペースメーカーをご使用の方は本器を使用しないでください。